

# 市政に関する一般質問通告一覧

平成29年第1回半田市議会定例会

【日程】※日時は予定です。

日	時	質 問 議 員
3月1日(水)	午前9時30分～	1. 山本佳代子(日本共産党)
		2. 小出義一(志民ネット)
	午後1時00分～	3. 嶋崎昌弘(創造みらい半田)
		4. 山本半治(公明党)
		5. 鈴木好美(公明党)
3月2日(木)	午前9時30分～	6. 竹内功治(無所属)
		7. 岩田玲子(創造みらい半田)
	午後1時00分～	8. 中川健一(無所属)

## 3月1日(水) 午前9時30分～

### 1. 1番議員 山本佳代子(日本共産党) 【一問一答】

#### 1 税収納行政について

##### (1) 収納行政の改善について

- ①市税の滞納状況と滞納処分の実状について
- ②差し押えの実状について
- ③滞納処分にならない為の体制づくりを強化してほしいが、滋賀県野洲市の取組みを半田市も取り入れたらいかがでしょうか

### 2. 5番議員 小出義一(志民ネット) 【一問一答】

#### 1 新たな学校給食センター建設に向けて

##### (1) 現在の施設が抱える問題点と食中毒予防対策について

- ①どのような内容が衛生管理基準を満たしていないのか
- ②衛生管理基準を満たしていない点はどのように補うのか
- ③食中毒予防対策として重視していることについて

##### (2) 新たな学校給食センターの衛生管理について

- ①構造上改善される事柄について
- ②衛生管理の改善方法について

##### (3) 地産地消による安全確保と食育について

- ①食育の進め方をどのように考えているか
- ②圃場視察の頻度、目的について
- ③異物混入の発生件数は如何か。原因究明は行われているか
- ④地産地消推進協議会を立ち上げ、促進を図るべきだと考えるが如何か

**3月1日(水)午後1時00分～**

**3. 20番議員 嶋崎昌弘 (創造みらい半田) 【一問一答】**

- 1 半田市立半田病院の使命、経営形態及び欠損金、企業債について
  - (1) 半田病院の使命について
    - ① 公立病院の使命について所見を伺う
    - ② 知多半島に三つの公立病院があるが半田病院の方向性は
  - (2) 半田病院の経営形態について
    - ① 国が示す五つのツール(企業法一部、全部、独法、指定管理、民間譲渡)について所感を伺う
    - ② 開設者、管理者の所見を伺う
    - ③ 現在の地方公営企業法一部適用が半田病院に最適ですか
    - ④ 経営形態について考えた事はあるのですか。あるのならそれはいつ、誰が、どこで、その結果は
    - ⑤ 今後の方向性は
  - (3) 累積欠損金、企業債について
    - ① 平成27年度決算の残額は
    - ② 累積欠損金の解消について
    - ③ 企業債の返済計画について
- 2 高齢化社会にむけて
  - (1) 行政で可能な終活支援について
    - ① エンディングプラン・サポート事業について
    - ② エンディングノートについて
  - (2) 在宅医療・介護について
    - ① 現況の所見を伺う
    - ② 在宅死の割合をアップするには

**4. 13番議員 山本半治 (公明党) 【一問一答】**

- 1 介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)について
  - (1) 新しい総合事業の充実について
    - ① 本市が進める地域支援事業について
    - ② 2025年要介護(要支援)認定者の推移について
    - ③ 介護の担い手の確保に向けて認定ヘルパー制度の活用について
- 2 子育て支援の充実について
  - (1) 出産・育児を支援する情報サービスについて
    - ① マイナンバーカードを活用した母子健康情報サービスの導入について

**5. 12番議員 鈴木好美 (公明党) 【一問一答】**

- 1 特殊詐欺から市民を守る取組みについて
  - (1) 振り込め詐欺の現状について

- ①振り込め詐欺の種類や特徴について
- ②半田市で過去3年間に被害を受けた件数又、被害金額について
- ③半田市で過去3年間における振り込め詐欺関連の相談件数について
- (2) 振り込め詐欺の対策について
  - ①半田市としての対策について
  - ②警察と連携して振り込め詐欺撲滅運動等を行っているが更なる活動として、だし丸くんやごん吉くんに詐欺撲滅タスキ等を作り定期的に広報活動を行う事について
  - ③振り込め詐欺対策機（自動通話録音機）導入について
- 2 携帯電話（スマートフォン）を含むインターネットについて
  - (1) ネットについてのアンケート調査について
    - ①児童会生徒会サミットに於いてネットについてのアンケート調査を行っているが、保護者まで周知されているのか
    - ②アンケート調査の結果は学校側として把握しているか
  - (2) ラインいじめ監視アプリについて
    - ①千葉県柏市のラインいじめ監視アプリの認識について
- 3 障がい者日常生活用具給付事業について
  - (1) 障がい者日常生活用具給付事業の取組みについて
    - ①事業の実施状況について
    - ②日常生活用具給付事業実施要綱に記載されていない器具に対する要望についての現状と課題について
    - ③課題に対する今後の解決策は

### 3月2日（木）午前9時30分～

#### 6. 3番議員 竹内 功治（無所属） 【一問一答】

- 1 榊原純夫市長の2期8年の市政における、学校教育・子育て支援の政策の取組みと今後について
  - (1) 学校教育の政策の取組みと評価、今後について
    - ①確かな学力の育成を図るために、どのような取組みをして、どのように評価しているのか
    - ②豊かな心の育成を図るために、どのような取組みをして、どのように評価しているのか
    - ③地域、また家庭との連携の推進を図るために、どのような取組みをして、どのように評価しているのか
    - ④安心・安全な学校づくりの推進を図るために、どのような取組みをして、どのように評価しているのか
    - ⑤学校教育の政策の課題をどのように捉えて、また今後の取組みをどのように考えているのか
  - (2) 子育て支援の政策の取組みと評価、今後について
    - ①子育て家庭への支援を図るために、どのような取組みをして、どのように評価しているのか

- ②幼児教育・保育の充実を図るために、どのような取組みをして、どのように評価しているのか
- ③子どもの健やかな成長を図るために、どのような取組みをして、どのように評価しているのか
- ④子育て支援の政策の課題をどのように捉えて、また今後の取組みをどのように考えているのか

7. 8番議員 岩田玲子（創造みらい半田） 【一問一答】

1 ふるさと納税について

(1) ふるさと納税制度を活用することについて

- ①ふるさと納税は首都圏から地方に税収として流れるように設計された制度です。活用されていますか
- ②半田市の現状は。今後の見通しは
- ③ふるさと納税の収支をプラスにする考えは
- ④山車文化を守るために活用できる寄附メニューを増やす考えは

2 インフルエンザについて

(1) 市内小中学校のインフルエンザをとりまく状況と対策について

- ①今年の半田市のインフルエンザの発症状況は
- ②予防のための取組みや対策は
- ③学級閉鎖や学年閉鎖で休んだ児童・生徒の数は
- ④休んだ生徒への対策は

**3月2日（木）午後1時00分～**

8. 14番議員 中川健一（無所属） 【一問一答】

1 半田病院の移転議論を通じて明確になった榊原純夫半田市長の問題のある政治手法について

(1) 時間が無い、時間が無い、ということで市民に十分な議論の機会を与えずに自分の意見を無理やり押し付ける政治手法は問題だについて

- ①約5年前、新庁舎建設時も時間が無いと言って市民が十分に議論をする機会を奪いました。今回の病院移転議論でも、中長期計画にない新病院構想が突然提案されました。その後は時間が無い、時間が無いの一点張りです。市長は職員駐車場案を押し付けるために、時間が無い無戦略を使っていることを認めたらどうですか

(2) 半田市民をほぼ無視した、市民協働計画に反する独善的なまちづくり手法について

- ①病院移転の議論では市民には選択肢を提示せず、市民と意見を交えず、決めたことを上意下達で伝えるだけです。これで市民協働と言える訳がありません。病院移転の議論でどのような市民協働があったか教えて下さい

(3) 知多半島全体を見通す視野が欠落した政治姿勢、南海トラフ大地震時、知多半島60万人の命が危険にさらされることについて

- ①知多半島で唯一の中核災害拠点病院である半田病院は、南海トラフ巨大地震発生時に想定されている5,000人の重傷者を中心になって受け入れる役割があります。しかし

職員駐車場案は、南知多町、美浜町、武豊町等で被災する重傷者のことを考慮していません。なぜですか

(4) 安全安心より「建設スケジュールを最優先」した人命軽視のまちづくりについて

①国や県は、防災で最優先すべき理念を「人命を守る」としています。第3次あいち地震対策アクションプランでは、「防災は楽観的な想定ではなく、悲観的な想定を行う必要がある」と明記しています。一方、病院移転を巡る半田市の考え方は「命を守る」が欠落し、「建設スケジュールを最優先」としています。これは国や県、社会通念に反すると考えますが

(5) 職員駐車場周辺の液状化の是非の判断に、学術的な考え方や国・愛知県で定められた考え方よりも独善的な自らの考えを優先する市長について

①愛知県が作成したハザードマップは、過去の記録や実際行った土質調査に基づいて作成されている信頼性の高い地図で、職員駐車場周辺は液状化危険度が極めて高い地域となっています。ところが市長は「300年以上経過した干拓地では液状化は低減されると言われている。液状化による極端な道路寸断や沈下はない」と言い伝えを優先した説明をしています。根拠を教えてください

(6) 半田市民に都合の悪い事実は、市長により重大な事実と異なることが半田市民へ伝えられることについて

①9月議会で「敷地南の市道東洋みなと公園線は、県道碧南半田常滑線と同じ舗装厚とすることで液状化対応可能。」との市長の答弁がありました。第1次緊急輸送道路である県道碧南半田常滑線も液状化対策はされていない道路です。何を根拠に液状化しないと言っていますか

(7) 津波避難対象地域である職員駐車場に災害拠点病院である半田病院を置くこと自体が論理的に間違っている。市長自らのストーリー実現のために危険を市民と病院職員へ押しつけていることについて

①職員駐車場は市の津波避難計画では避難対象地域にあります。災害時には地域内の全ての市民は安全な高台へ避難します。一方病院関係者は浸水進行中に病院へ向かわねばなりません。医療スタッフがいないければ入院患者のケアは勿論のこと、病院としての医療機能を失い災害拠点病院として機能しません。そもそも津波避難対象地域に災害拠点病院を設置すること自体が間違っていると考えますがどうか

2 12月議会で市長に課せられた宿題について

(1) 南海トラフによる巨大地震時に、半田病院が水没孤立する想定で8月に災害訓練をやった内閣府・愛知県、一方で半田病院は水没孤立しない想定と言っている半田市長、どちらが正しいのかの検証について

①12月議会では「そうした場合は一度確認したいと思います。」と答弁があった。文書による裏付けがある内閣府と愛知県に対する調査結果を説明して下さい

3 結局のところ、現時点では半田病院のあり方検討委員会の提言、職員駐車場への半田病院移転(案)は全否定されたのではないかと

(1) 新病院建設候補地検討会議委員の半田市医師会会長は「赤レンガが候補地に入っていない段階で決めた現職員駐車場案は、あり方検討委員会委員の意見が正確に反映されているかは疑問。」救命救急センター長に至っては朝日新聞で「医療はより安全性の高い場所で行うべきだ」と職を賭して発言していることについて

①半田病院のあり方検討委員会の委員に防災および土木の学識経験者が排除されていたことが今日の半田病院の移転議論の迷走を引き起こしました。半田市長はその責任をどう取る考えですか